

# 計画値設定および評価設定の変更案

※第4期初年度のため、今後も定期的に見直す。

目的：実態に合った（感覚と乖離しない）評価  
 目指す姿：PDCAサイクルを回して業務を改善しやすくする

資料 1 - 2

（課題：対前年度実績ではなく、計画値、達成目標により評価することが適切ではないか。）

## Q1. 計画値があるかないか

YES NO

現行どおり  
（計画と実績の比較により評価）

年度計画から算出できる値か  
（例：フリーキャッシュフローは収支計画から算出可。研修受講率は100%？）

YES

NO

算出できる値 = 計画値として、計画と実績の比較により評価

・前年度との比較ではなく、**直近のトレンドを計画値にする**  
（直近(R7ならR5)実績×3年間の伸び率(R2～R5の平均)

・この計画値の実現が難しい場合、**機構に自主的な目標値設定をお願いしたい。**

評価委員会で指摘あった「（年度計画を大幅に上回っていないのに）前年度から改善したのでS」がなくなる

自主的な目標値設定に当たっては、他団体の数値も参考にされたい

（課題：全指標を目安としている20%刻みで評価することは妥当か。特に大項目3はBに偏り（50%台））

## Q2. 財務指標がB評価に偏らないための評価設定の方法は？ 財務的な指標か？

YES

NO

経常収支比率か

YES

NO

3%刻みの評価で評価  
※過去の標準偏差（3%）を考慮、**他より厳密**に設定

5%刻みの評価で評価  
※延患者数や患者単価等の過去の標準偏差(3～11%)を考慮

※一般的には、平均±標準偏差の0.5～1倍刻みで5段階評価を設定すると、適度にS～Dに散らばるといわれる（Bが38～68%）

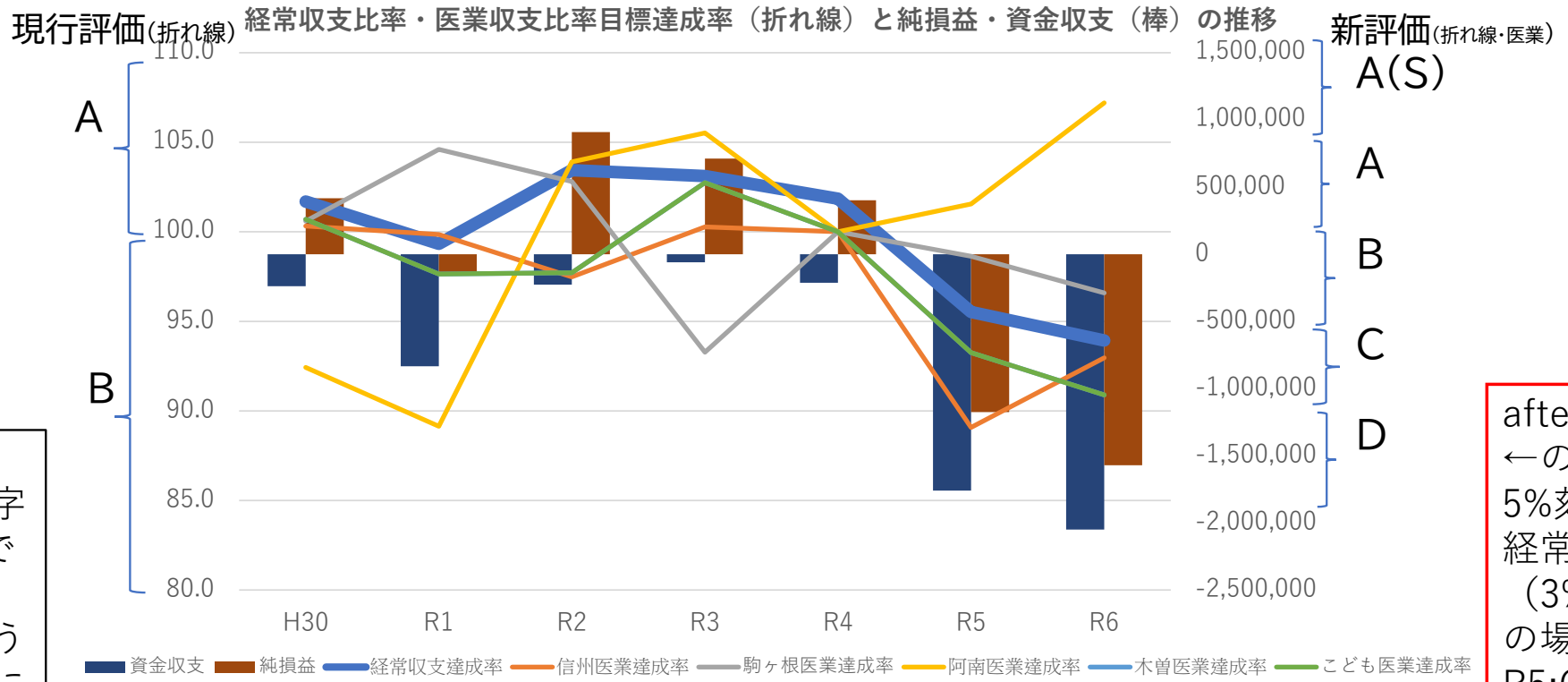
現行どおり  
20%刻みの評価で評価

大項目3を中心に、良いものは良い、良くないものは良くないという評価ができる  
（経常収支比率は委員からより厳しくて良いという意見あり）

この他、他県や国独法を参考に、細項目以上は**機械的に自己評価を付けない**（特にSは理由付け）

文言例：「S～Dの目安は、あくまで目安であり、実際の各項目の評価にあたっては、事項の進捗状況・成果を、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断する」「細項目以上の単位でS評価を付す場合には、その理由を難易度等の面から明記する」

目的：実態に合った（感覚と乖離しない）評価  
 目指す姿：PDCAサイクルを回して  
 業務を改善しやすくする



before  
 過去最大赤字  
 (R5,R6)で  
 もB評価に  
 なってしまう  
 →目指す姿に  
 ならない

after  
 ←の分類は  
 5%刻みだが、  
 経常収支比率  
 (3%刻み)  
 の場合、  
 R5:C、R6:D

# 今後の課題と対策について

独自設定した指標中心  
(なければ課題に沿う  
もので可)

(●×病院)

質問		回答	関連する指標(設定の方法)
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目 1)	1. ■■の患者ニーズに対応するため、●●導入を検討	1. 導入による入院患者満足度の向上で△△.◇%を目指す(全自病 医療の質・医療安全の評価公表等推進事業の同種同規模病院の数字を参考)
	経営等 (大項目 2,3)	2. 診療材料の調達支援・共同購入を活用した、価格交渉等による診療材料費の削減	2. 材料費対医業収益比率▼.◆%(中期計画のR8の数字に削減効果▲X百万円を見込んだ値)
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目 1)		
	経営等 (大項目 2,3)		
③①②への対策	医療 (大項目 1)		毎年度1回目または2回目の評価委員会資料とする (R7において資料にしたものに、委員の意見を反映し、一番右の列を追加)
	経営等 (大項目 2,3)		